

自己評価の結果について 令和2年度

学校法人旭川カトリック学園 天使幼稚園

1. 本園の教育目標

・キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己肯定の精神を育む。幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し、遊びを通して周りの世界に興味をもち、探索し、思考する過程を大切にしたい教育を目指している。また、幼児期にふさわしい生活が展開されるように、園児と教師間の信頼関係に支えられた生活、興味や関心に基づいた直接的な体験が得られる生活、友達と十分にかかわって展開する生活がなされるように配慮した幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・モンテッソーリ教育による自主選択活動を通して、人生の基本である自由・責任・集中力・自立心を養う。
- ・3・4・5歳縦割りクラスの中で、思いやり、尊敬、自他との調和を体得し、社会性を育てる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">・保育カリキュラムは、カトリックの教えを基に教育目標を立てて作成している。また、園児の発達を見通して、園児が自ら考えて自主的に活動を展開していけるように環境を構成している。・モンテッソーリ教育を取り入れ、3歳～6歳の異年齢縦割りクラスでお互いに思いやりをもって仲良く過ごし協調性や社会性が育っている。・コロナ禍に於いて5月末まで休園となり6月は時差登園から再開したが、皆の命を守ることを最優先として毎日の保育や年間行事も熟考を重ね、やむなく中止となったものや目的や楽しみを失わないように縮小したものが多かった。

<p>2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援 その他の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文部科学省からの衛生マニュアルに従い職員全員で清掃・消毒に努めている。 ・ 園児の健康的な生活を守るため、常に園医とコンタクトをとり指導をうけている。また、各家庭にも検温やマスク着用等のご協力を頂いている。 ・ 園児が安定した気持ちで過ごせるよう一人ひとりに愛情深く丁寧に関わるように努めている。 ・ 懇談会や参観日等が通常どおり行えず、子育て支援として保護者とのつながりが希薄になってしまった。
<p>3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質 向上を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児のありのままの姿を受け入れ、性格や年齢及び発達段階に即した援助の仕方を工夫する。また、園児と一緒に生活を創りだすことを楽しむ。 ・ 園児のこと・クラスの出来事等で必要なことや問題点などは報告や連絡を怠らず、一人で抱え込まずに相談する。また、職務上知り得た個人情報厳守する。 ・ カトリック幼稚園の教職員として、保育時間外でも保育者としての誇りと自覚をもった言動を心がける。
<p>4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者に対し日頃から園の考えを分かりやすく伝え信頼関係を築くよう努めてきたが、参観日や懇談会の中止、行事参加の制限等があり、園便り等紙面による補足説明では難しいことがあった。 ・ ブログの発信が進まず、楽しい園生活の様子を伝えられなかったのが今後の課題とする。 ・ 行事の中止・縮小に対する保護者の思いや不安を受け止め、要望を聞き、コロナ禍での園の方針も丁寧に説明し事情を理解して頂けるよう対応してきた。

<p>5 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内感染状況や感染防止対策等から判断して円山動物園やりんご狩りへ出かけ、園外保育を楽しむことが出来た。 ・ 北11条教会バザーや卒園生の集いが中止になったが、5回の園庭開放を行い地域の未就園児親子に遊びに来て頂けた。 ・ 東区幼保小連携推進協議会議は中止になったが、小学校入学にあたり電話で小学校の先生との連携を図った。
<p>6 研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会がほぼ中止になり参加する事が出来なかった。 ・ 日々の園内消毒、保育活動や行事内容検討等の職員会議に追われ、夏・冬休みに予定していた園内研修が進まなかった。
<p>7 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年を振り返って各保育者は自己点検を行った。結果は年度末の役員会で伝え、保護者代表として学校関係者評価を頂きホームページで公開する。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価によって明らかになった自分の長所に自信を持ち、今後の課題は改善に努める。 ・ これからも続くであろうコロナ禍に新しい意識を持ち、教職員一丸のチームとして園児とご家庭のために一生懸命元気に働く。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園児の命を守ることを最優先に考え、文部科学省・教育委員会からの指導、状況把握や情報収集などを基に感染拡大防止対策を実行していく。 ・ 災害時等保護者への緊急連絡のため「セコム緊急メール」を導入した。 ・ 消防法を踏まえて施設設備の安全管理に努め、年2回の避難訓練(火事・地震)を行った。また、災害時のため、全園児分のアルミブランケット・保存用ビスコ・飲料水を備蓄している。 ・ 園児・保護者・教職員にとって安全な環境であるために、玄関電気施錠を行い外部からの侵入者を防ぎ、玄関・1階ベランダに防犯カメラを設置し画像を保存している。 ・ 警察や札私幼から提供される不審者情報には速やかに対応する。 ・ 緊急時に備え、園内にAEDを設置している。 ・ 園児や教職員の健康診断を行っている。 ・
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発達に気になるところがある園児や特別な支援を要する園児は、保護者と良く話し合っ理解し合い、家庭や東区幼児教育支援員、各関係機関と連携・協力しながら指導計画を立て、職員間で共通理解の上、協力し合い援助している。また、発達と学びの連続性を確保するため小学校との連携を図っている。 ・ 特別支援教育に関する研修を受け、園児や保護者への対応に活かせるよう努めている。
園に対する保護者の満足度の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度は懇談会や行事お手伝い等が中止になり保護者から直接声を聞かせて頂く機会を設けることが非常に難しかったが、年度末には学年別クラス懇談会を行い子どもの最長を喜び合うことが出来た。 ・ 保護者に「夏休み・冬休みの様子」や「卒園によせて」を書いて頂き、園長・副園長・担任が読んで子どもの家庭での様子や日々の成長、保護者の思いを把握させて頂いている。 ・ 保護者の心配事や悩みには丁寧に話を聞き迅速に対応する事を心がけている。

6. 学校関係者の評価

各組・各学年のクラス代表の方に、本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想をいただきました。

1. 保育の計画性

- ・ カトリックの教えを基に、職員間で各園児の情報を共有し、基本となる思いやりや自己定精神を忘れることなく、園児の発達に応じて、園児が安心して過ごせる環境を整えてくれている。
- ・ 異年齢縦割りクラスは本当に素晴らしく思いやりの心が園児に身に付いていると実感している。
- ・ コロナ禍での様々な変化の中、命を守ることを最優先に考え、感染予防に務めたモンテッソーリ教育や行事を行っている。
- ・ 日々のお祈りや歌、聖劇などの行事を通し、子どもたちにわかりやすい形でカトリックの教えを感じられるよう保育計画が工夫されている。
- ・ コロナ禍で縦割りクラスとしての活動が難しい中でも、モンテッソーリ教育を日々取り入れることで、年少、年中児は年長児の姿を目標にして自主的にやる気や頑張る心を持てるようになっている。
- ・ 毎日のお祈りや行事での感謝の集いや祈りなど、カトリックの教えを感じる機会が多くあると思います。
- ・ 縦割りクラスで自然にお互い助け合う姿を目にすることができていると思います。

2. 保育の在り方及び対応

- ・ コロナ禍前から清潔な環境を保たれていましたが、保育時間前後のお忙しい中、清掃消毒にご尽力いただいているおかげで、子供達が楽しい園生活を送ることができました。前半はコロナの影響で母の会や参観ができませんでしたが、個人懇談や先日の母の会で園の様子を知ることができ、安心しましたし、初めてお会いしたお母様方ともお話しでき、来年度が楽しみになりました。
- ・ 職員の方々全てがコロナウイルス対策を行い、園内の清掃・消毒に努めている。
- ・ 園児一人ひとりに寄り添い、常に子どもに愛情を持って接している。
- ・ コロナの影響で懇談会や参観日が例年通りには行われなかったが、電話での対応など園での様子を伝える工夫がされていた。
- ・ どんな時も子どもたちの目線にあわせて大きな心で受け入れてくださいました。日頃の子どもたちの様子についても、気さくにご相談させていただける雰囲気があり、安心して過ごすことができました。行事等のお手伝いなどについてもうまく分担してくださり共通理解のもとすすめていただきました。

3. 保育者としての資質

- ・ 園児一人一人の個性を受け入れ、園児の主体性を大切にした指導をされている。
- ・ クラスの分け隔てなく、園全体で見守る保育をされている。
- ・ 優しい雰囲気の中、時として毅然とした態度で信念を持って対応されている。
- ・ 園児一人一人に合わせた対応がしっかりできている。
- ・ 保育時間外のことでも親身になって支えてくれることが多い。
- ・ 子供達のことを一番に考え行動できている。
- ・ 園児の個性に合わせた声かけや対応をして下さっていると日頃から強く感じています。保護者が気になる小さなことでも、相談できる環境・関係を作ってくれているので保育者として心から信頼できています。

4. 保護者への対応

- ・ 保護者からの相談要望に真摯に向き合ってくれ、問題解決に尽力してくれた。
- ・ HPを見やすく改善してくれた事、更に園内の様子を沢山掲載する事で、コロナ禍でも子供の様子がよくわかるよう務めてくれた。
- ・ コロナ禍において、参観日や懇談会、行事などが中止となり、直接的に園内の様子を観る機会は得られなかったが、園への送迎時や年度末の学年別クラス懇談会、クラス役員会では保護者の疑問や意見、不安に対し個々の思いを傾聴し、その都度対応され相互理解を深めている。
- ・ コロナに対応した方針が示されており、園児や保護者が不安を軽減し登園できるよう努めている。
- ・ 行事等中止や縮小、変更があった際の連絡が以前よりも早く届くようになり、大変ななか保護者の要望を聞き入れ対応してくれている。直接、園での様子を見る機会が少なくなったため、今後の課題としているブログの発信が増えると良いと感じている。

5. 地域社会との連携

- ・ コロナ禍の中でも、感染対策をとりながら、円山動物園やりんご狩りを開催していただいたことは有り難く思っています。地域とのふれあいを通じた子供の成長という意味でも非常に有意義であったと感じています。
- ・ 状況をふまえ、園外保育を行えたことは、自然や動物とのふれあいを楽しむだけではなく様々な制限があり日々ストレスを抱える子供達にとって心の安定にも繋がったと思われる。
- ・ 感染対策を行いながら園庭開放により地域との関わりをもつ機会を得ていた。
- ・ 小学校入学後の生活がスムーズにいくための連携をとる工夫がされていた。

- ・ 進級するにつれて、園以外での活動が多くなり、色々な体験をすると共に地域の自然や社会と交流することが出来ている。又、コロナ禍であっても、安全を第一とし、分散を行い、地域社会との連携に努めている。

6. 情報公開

- ・ 母の会で学年別に保育の様子を伝えている。
- ・ 園だよりで保育のねらい、幼稚園生活の様子、考え方などが分かる。
- ・ 園ブログでの写真で保育の様子、雰囲気が分かる。
- ・ 自己評価をHPで公表し外部から見やすくなっている。
- ・ ブログでは園行事などを写真付きで公開している為、子供達が楽しんでいる普段の様子がわかる。
- ・ 園だよりでは、行事予定などを事前に公表している為、仕事などの予定が立てやすくなった。
- ・ コロナ禍での子供たちの適応能力の高さ、たくましさ等の成長を母の会を通して知ることができた。
- ・ 「セコム緊急メール」、園便りにより情報共有ができていたと思う。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽A S G有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。